

| | | | | | |
|--|--------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 上野沼遊歩道周辺管理事業 | 事務事業No. | 40302000558 | 所属課 | 商工観光課 |
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 遊歩道利用者が快適に散策を楽しめる環境づくりをするために開始された。 令和2年度頃から木道の老朽化が目立ってきており、毎年計画的に修繕を行っている。 | | | | | |
| (6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 枯れ木の除去・遊歩道修繕・木道修繕・告知板設置などの要望あり。 釣りについての要望が多数あり。 | | | | | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|---------|--|
| 改革改善を行う | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 観光資源である上野沼遊歩道を整備することで、利用者が快適に散策を楽しめる環境が整備できるので、政策体系との整合性が図られている。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 利用者が快適に散策を楽しめる環境を維持できるので、妥当である。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 上野沼遊歩道は茨城県が整備している「ヘルスロード」にも指定されているので、更にPRすることによって利用促進を図ることができる。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 快適な環境が維持できなくなるため、影響がある。 |
| 効率性 | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。 |
| | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 快適な環境が維持・整備できなくなるため、削減余地はない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 上野沼遊歩道の散策は、だれでも楽しむことができることから、公平・公正である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 令和2年度より撤去箇所と修繕箇所を現地確認し、計画的に木道修繕を行っている。なお全て修繕するのではなく、予算と必要性を鑑み修繕している。 歩道路面の補修工事においては、令和3年度から令和6年度まで継続して実施した。 なお、歩行者の安全を確保するため、岸釣り禁止看板を随時更新して岸釣りを抑制している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|--|----|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|--|---|--|--|----|--|--|--|--|
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 成果 | 向上 | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 維持 | | ○ | | | 低下 | | | | |
| 成果 | 向上 | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 木道部分については全体的に老朽化が激しく、全てを修繕できるほどの予算がないため、必要性や危険度を鑑みて計画的に修繕していく。 舗装路面については令和3年度からの補修工事が完了した。引き続き路面状況を都度確認し、再度補修が必要な箇所が生じた場合は予算と必要性を鑑みて修繕していく。 | | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|---|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 |
|---|---|